

(関係部門へご回覧下さい)

情報セキュリティ 「最前線」

「今起きていること」と「その対応策」を解説

- ★ インターネットの普及・拡大やスマホなど多様なデバイスの誕生・普及から、デジタル通信を介した情報伝達の世界が広がっています。デジタルを介した情報伝達は、金融業務でも多用されており、ネット・バンキングに象徴されるように重要な取引ツールにもなっています。その一方で、フィッシング詐欺やサイバー攻撃に見られるように犯罪にも悪用されるようになっていきます。手口も巧妙化しているだけでなく、早いスピードで変化するため、防御策の構築・実施も容易ではありません。
- ★ セミナーでは、情報セキュリティの観点からデジタル空間で起きている「最新の犯罪事例」を紹介するとともに、犯罪防止のために取られている「対応策」を解説します。情報セキュリティの重要性は、今後ますます今まで以上に高まります。金融業務の信頼性と安定性向上に役立てるために、情報セキュリティの世界で「今起きていること」と、その「対応策」を紹介、解説します。

開催日：2018年4月20日（金） 1.0日間

会場：第2ニッキンホール（東京・市ヶ谷）

講師：JSSM（日本セキュリティ・マネジメント学会） 常任理事 兼
「先端技術・情報犯罪とセキュリティ研究会」 主査

ACCS（社団法人 コンピュータソフトウェア著作権協会） 技術顧問

萩原情報セキュリティ・コンサルティング 代表

CMC・N研究会常任アドバイザー/CFE（米国公認不正検査士）

萩原 栄幸氏

主催：CMC

Computer Based Management College

<http://www.nikkin.co.jp/cmc/>

※上記サイトからWebでの申し込みが出来ます

後援：一般社団法人全国地方銀行協会
一般社団法人第二地補銀行協会
一般社団法人全国信用金庫協会
一般社団法人全国信用組合中央協会

研修の狙い

金融を取り巻く環境はここ1、2年で大きく変化しています。米財務長官が金融業は「絶滅危惧種」と話しており日本の環境はそれ以上に厳しい状況となっています。今回は先端のキーワードを含め、実際にサイバー攻撃対応の為、中国の内陸部に昨年出向いた時の驚愕な状況やクレジット会社が戦々恐々としている現実を認識され、金融機関の今後の進路を決める大きなヒントになることをめざします。

研修のテーマ

- ・過去に発生した情報セキュリティの事案（日本年金機構、ベネッセ等）について個別にその分析を行い、私達が注意すべき点を平易に解説します。
- ・昨年の2017年に発生した10大セキュリティ事案（マカフィ社調べ）についても解説します。
- ・最近の様々な金融機関や情報セキュリティにおける重要なキーワードについて今更聞けない内容を含め、金融業として対応するもの、注視すべきものを解説します。技術的な内容も数学が苦手な方でも理解できる様に努めます。

研修の対象

金融機関等に勤務されている方であれば、支店でも本部でもシステムやセキュリティに関係する方はむろんのこと総務、人事、営業など幅広く対象となります。また経営者や金融に携わるメーカーやベンダーの方々、他業種の方にも満足される内容となっております。

開催要綱

日時： 2018年4月20日（金） 1日間

時間： 10:30~16:30（受付開始10:00）

講師： 萩原 栄幸 氏 JSSM（日本セキュリティ・マネジメント学会） 理事

会場： 第2ニッキンホール（東京・市ヶ谷）

受講料： A：41,040円（本体価格38,000円、消費税3,040円）

（CMC金融機関機械化研究会会員、金融ニュービジネス&テクノロジー研究会会員）

B：44,280円（本体価格41,000円、消費税3,280円）

（後援協会会員機関）

C：47,520円（本体価格44,000円、消費税3,520円）

（一般機関）

定員： 20人（最少実施人員10人）

◇講師プロフィール

萩原 栄幸（はぎわら・えいこう）氏

日本における情報セキュリティの第一人者。23年間三菱東京UFJ銀行に勤務。先端技術の調査・研究の実験室「テクノ巢」の責任者を務め、更に内部犯罪調査を現場で指導してきた。情報セキュリティ、内部犯罪、サイバー攻撃、スマホ、SNS、クラウド、などについて独自の検証を踏まえ執筆や講演活動を行う。NHKやフジテレビ等にも多数出演し、活動範囲を広め、2011年12月に世界で初めてAndroidのウイルス対策ソフトが論理上パソコン並みではないことをネット上で解説し世界の注目を浴びた。現在も地銀、信金、信組、JAなどの金融機関を主体にコンサルティングを実施し、実践で改善を行い、地域オンリー1を目指すよう精力的に指導している。照会先は jssm@hoshizora.jp

【講演・セミナー】 個別の銀行、信金、信組などでも多数の講演やコンサルティング実績を持ち、12年にはベトナムのハノイで民間銀行2行向けセミナーを開催。日本セキュリティ・マネジメント学会では12年11月の学術講演会（スマホがテーマ）の座長を務め、13年3月の総務省、経済産業省後援による「遠隔操作ウイルス」をテーマに公開討論会の座長兼司会を務める。13年6月の学会全国大会では「サイバー攻撃」をテーマに副大会実行委員長となり、個別に論文発表も行う。2014年11月の学術講演会（内部犯罪がテーマ）でも座長兼講師として活躍している。2016年も第一回情報セキュリティ・サミットや日本内部監査協会の全国大会など多数の講演を行っている。数多くのテレビ、ラジオ出演の実績と数百以上もの新聞・雑誌などでの解説もあり、出版も多数。

【カリキュラム】

4月20日（金） 10：30～16：30 （受付開始 10：00）

1：事件から学ぶ情報セキュリティ

- (1) 2017年10大セキュリティ事件ランキング（マカフィ調べ）からの解説
（ランサムウェア・偽メール・無線LAN・サイバー攻撃等々）
- (2) 日本年金機構
- (3) ベネッセ
- (4) 地銀共同センター キャッシュカード偽造
- (5) 仮想通貨NEM580億円消失

2：今更CSIRT？されどCSIRT！

- ・なぜ金融庁はCSIRTに注目するのか
- ・バーチャルCSIRTの功罪
- ・ある地銀と金融庁のやり取りから見てくる事実
- ・その他、金融ISACの活用法等

3：FinTech！一体どうなってるのか？今後の対応はどうする？

- ・なぜ騒ぐのか？
- ・今までとどう違うのか？
- ・オフ会でのIT企業の本音
- ・具体的な今後の考え方

4：仮想通貨の考え方

- ・ブロックチェーンの論理での仮想通貨とは？（なるほど！解説）
 - ・ビットコイン以外の仮想通貨（1000種を超える）はどう対応する
 - ・Jコイン、MUFGコインそしてその先をいく三菱や三井住友の参加するディーカレットで仮想通貨も通貨も外貨もクレジットも大変革となるか？
- （余談）中国での決済機能の実情、物乞いも大道芸人もQRコード。北欧では通貨が全流通量の2%しかない事実。高額紙幣の発行削減・停止の唯一の例外国日本の今後

5：人工知能（AI）・IoT

- ・（今後の発展が）恐ろしいAIと（セキュリティが）恐ろしいIoTと・・・
- ・ディープラーニング基礎の基礎（なるほど！解説）
- ・メガバンクの人員削減がもたらす地銀・信組・信金への影響を真剣に考慮する
- ・NHKスペシャルで報道した事実と隠された事実の中に何が見える

6：まとめ（Q&A）

007

第22回 金融機関情報セキュリティマネジメントセミナー
情報セキュリティ「最前線」
 ～「今起きていること」と「その対応策」を解説～

ホームページ用受講申込書 (2018年4月20日開講)

貴社名

所在地 〒

連絡責任者

部署・役職

TEL

FAX

	参加者氏名	所属 (部・課・グループ)	役職

☆お申し込みいただきました方には、受講証・請求書・会場地図をFAX致します。

受講料 A: 41,040円 (本体価格 38,000円)

(CMC金融機関機械化研究会会員機関、CMC金融ニュービジネス&テクノロジー研究会会員機関)

B: 44,280円 (本体価格 41,000円)

(後援協会会員機関)

C: 47,520円 (本体価格 44,000円)

(A、B以外の一般の皆さま)

【お問い合わせ先】 CMC : TEL 03-3261-4550 FAX 03-3261-4570まで。

注：(振込先銀行) みずほ銀行 市ヶ谷支店 普通預金 1797042

三菱東京UFJ銀行 市ヶ谷支店 普通預金 1279478

りそな銀行 市ヶ谷支店 普通預金 1627070

(名義) 株式会社 CMC 振込予定日 (できるだけご記入ください) 月 日

- 受講についてのお願い -

- ①受講料は、できるだけセミナー開催日までにお振り込み下さい。
- ②銀行振込の場合は領収書を発行いたしません。
- ③銀行振込に際しては、可能であれば貴社名の前に請求書番号の下3桁(枝番数)を付記してください。銀行振り込みの手数料は記者でご負担を御願い致します。
- ④開催日前、一週間以内のキャンセルはできません。
- ⑤講演の録音、撮影等はご遠慮ください。
- ⑥諸般の事情により開催を中止させていただく場合があります。